

## 研究室の活動記録

### 異動

藤間公太 准教授

2023年4月1日付で、京都大学大学院教育学研究科教育社会学講座准教授に着任しました。

#### 【略歴】

- |         |   |
|---------|---|
| 2009年3月 | 慶應義塾大学文学部人文社会学科社会学専攻卒業                          |
| 2011年3月 | 慶應義塾大学大学院社会学研究科修士課程社会学専攻修了                      |
| 2013年4月 | 独立行政法人日本学術振興会 特別研究員 DC2 (～2015年3月)              |
| 2015年3月 | 慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程社会学専攻修了<br>博士号(社会学)取得      |
| 2015年4月 | 国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部 任期付研究員<br>(～2018年3月) |
| 2018年4月 | 国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部第3室 研究員<br>(～2019年3月) |
| 2019年4月 | 国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部第2室 室長<br>(～2023年3月)  |

#### 【紹介】

専門は家族社会学、教育社会学、福祉社会学。

子どものケアをめぐる政策が顕在的、潜在的に想定している家族主義を問題化し、どのようにケアの責任や負担を社会で分担するのが公正なあり方なのかを考えている。質的データ、量的データを用いた分析から、家族によるケアを絶対視する規範を相対化する知見を導出することが、これまでの研究の主要な関心である。近年取り組んでいるのは、児童虐待相談記録の分析を通じた養育困難の背景についての研究、社会的養護の体制についての日本とイタリアの比較研究などである。

主著に、『代替養育の社会学——施設養護から〈脱家族化〉を問う』(晃洋書房、2017年/単著)、『児童相談所の役割と課題——ケース記録から読み解く支援・連携・協働』(東京大学出版会、2020年/監修著)などがある。

園部香里 博士後期課程

2023年4月1日付で、京都大学大学院教育学研究科教務補佐員に着任しました。

上村太郎 博士後期課程

2023年4月1日付で、京都大学大学院教育支援機構奨励研究員に採用されました。

(受入先：京都大学大学院教育学研究科 竹内里欧准教授)

馮可欣 博士後期課程

2023年4月1日付で、京都大学大学院教育支援機構奨励研究員に採用されました。

(受入先：京都大学大学院教育学研究科 竹内里欧准教授)

大江將貴 研究員

2023年7月1日付で、九州大学大学院人間環境学研究院教育学部門助教に着任しました。

## 学位授与

### 2022 年度博士論文

呉桐「「モダンガール」の歴史社会学—国際都市上海の女性誌『玲瓏』を中心に—」  
博士（教育学）教博第 287 号（2023 年 3 月 23 日付 授与）